

大阪府生活協同組合連合会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内
tel.06-6762-7220 fax.06-6762-7296
URL : <http://osaka-union.coop/>

会報

K A I - H O U

No.339
2019.3.15



西日本豪雨被災地ボランティアバス（倉敷市真備町有井地区での住民交流会）

[開催報告]	2018年度第5回理事会	1
[開催報告]	クリスマスコンサート	6
[開催報告]	2019年新年講演会	7
[開催報告]	～おおさかまるごと～健康チャレンジ2018ゴール集会	8
[開催報告]	平成30年度大阪府消費生活協同組合優良役員表彰	9
[開催報告]	西日本豪雨災害ボランティアバス	12
[連載]	「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて」	14
[スケジュール]		15

大阪府生協連 2018年度第5回理事会開催報告

開催概要

- I. 日時 2019年1月17日(木)
11時30分～12時40分
- II. 場所 天王寺都ホテル5階「信貴の間」
- III. 出席者
- (1) 理事（総数24名中、19名出席、5名欠席）
- ・会長理事 タン ミッシェル
 - ・副会長理事 柴橋圭介、勝山暢夫
 - ・専務理事 中村夏美
 - ・常任理事 入船行由、江口慶明、北川俊彦、櫻井秀一、中谷清、羽多野宏子
(欠席：山口健治)
 - ・理事 秋山也寸子、足立美恵子、大内淳次、長里広美、清水啓子、貫恒夫、橋下篤司、橋田寛人、渡邊和典
(欠席：奥章、久保幸雄、篠原聡、西村明彦)
- (2) 監事（総数3名中、1名出席、2名欠席）
- ・監事 谷川英子
(欠席：関戸雅弘、吉川卓次)
- (3) 陪席
- ・事務局長 小山正人
- IV. 議長 タン会長理事
- V. 議事の経過と要領とその結果

定刻になり、中村専務理事より、理事総数の過半数以上の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣した。続いて、タン会長理事が議長として挨拶し、議事を進行した。

審議事項

1 58回通常総会の件

小山事務局長より、第58回通常総会議案書の第1次案として、2018年度活動報告及び2019年度方針（1次案）について、提案がされた。また会員概況の原稿執筆について、地域：貫理事、医療：奥理事、大学：入船常任理事、職域：橋下理事、橋田理事、共済：櫻井常任理事、大阪市民共済に依頼する旨提案がされた。

討議の結果、2018年度活動報告及び2019年度方針については、各役員の見意を集約し、次回第6回理事会にて第2次案として継続審議することとし、そ

の他提案どおり全員異議なく承認された。

なお、江口常任理事より、「2019年度方針に関する憲法改正問題に関わる表記、その他誤字」について意見が出された。

2 2019年度年間日程の件

小山事務局長より、2019年度年間日程について、第1回理事・監事研修会を変更し、その他は前回理事会提案のまま確認する旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

3 2019年新年講演会当日運営の件

小山事務局長より、新年講演会の進行の変更、司会を講演会は、清水理事、懇親交流会は渡邊理事に要請する旨、また懇親交流会の理事・監事のテーブル分担等、運営について提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

4 福島の子ども保養プロジェクト「コヨット！ in おおさか2019春」開催企画の件

小山事務局長より、福島の子ども保養プロジェクト「コヨット！ in おおさか2019春」の開催企画について、「大阪受入企画の最終回として、今までにない、福島と大阪の子どもが、福島県と大阪府を行き交い交流する企画とする。大阪の子どもは会員地域生協に募集協力を要請する」「別途、学生スタッフ（経験者も含め）の福島見学企画を実施する」旨提案がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

なお、入船常任理事より「学生スタッフの参加日程について」、質問が出された。

5 大阪社会運動協会からの要請の件

中村専務理事より、大阪社会運動協会からの要請を受け、大阪社会運動顕彰碑（新顕彰碑）建立事業へ、100万円寄付する旨提案がされ、柴橋副会長理事から補足がされた。

討議の結果、提案どおり、全員異議なく承認された。

なお、柴橋副会長理事は、本議案につき特別利害関係にあるため、決議には参加しなかった。

また、タン会長理事より「寄付金額の根拠につい

て」、入船常任理事より「寄付の継続性について」質問が出された。

報 告 事 項

大阪府生協連

1 分野別会議開催報告

○地域

[日 時] 2018年12月12日(水) 15時～17時
[場 所] 大阪府社会福祉会館 4階406
[出席者] 久保(いずみ)、藪内(よどがわ)、石川(エスコープ)、松下(パルコープ)、牧(こうべ)、小山(府連)
5/10会員・府連 計6名

2 クリスマスコンサート2018開催報告

(1) 開催概要

[日 時] 2018年12月25日(火)
午前の部
開演11時 終演13時
午後の部
開演14時30分 終演16時30分
[管 弦 楽] 日本センチュリー交響楽団
[指 揮 者] 関谷 弘志さん
[語 り] 村上 陽菜さん
[会 場] NHK 大阪ホール
[後 援] 大阪府

[開催内容]

10:00 (13:30) 開場
11:00 (14:30) 開演 主催者挨拶
・フンパーティグ：歌劇「ヘンゼルとグレーテル」～序曲
・楽器紹介 オーケストラの仲間たち
・ベネット編：ホワイトクリスマス
・チャイコフスキー：バレエ音楽「眠りの森の美女」組曲～第5曲ワルツ
(休憩)
・～クリスマスの物語を語りとオーケストラで～チャイコフスキー：バレエ組曲くるみ割り人形
・アンダーソン：クリスマスフェスティバル
・アンダーソン：そりすべり
13:00 (16:30) 終演

(2) 申込結果

・取り組み生協は13生協。内チケット申込は12

生協と東日本大震災避難者ご招待を加え、当初申込は1,425人(午前の部478人、午後の部947人)と、前年から大きく減少しました。

- ・各生協に追加申込対応をお願いしました。また府連のホームページに申込フォームを開設しました。
- ・結果、追加及びWEB申込に当日販売を含め、1,492人(午前の部521人、午後の部971人)に発券しました。

(3) 収支見込

- ・支出計は9,150,148円と昨年より202,928円増加しました。内訳では、NHKホールの使用料は平日使用で103,935円減少。楽団出演料は選曲によりエキストラ、ソリスト(語り)の出演料が増加し、著作権使用料は減少しましたが289,578円増加。案内チラシ作成費は印刷部数増で21,600円増加。プログラム作成費は印刷部数減で25,920円減少。贈呈用花束は昨年より1名増え3名に贈呈し5,000円増加。91,774円減。演奏曲によるエキストラ出演料と著作権料が減、音楽著作権使用料等が増加しました。案内チラシ作成費は印刷枚数が約2万枚増え83,160円増。配券業務委託は契約内容の変更により16,605円増加しました。
- ・収入は、チケット収入が3,431,600円と昨年より1,844,600円減少しました。これにより連負担金は5,718,458円となり、昨年より2,047,528円増加しました。

3 西日本豪雨災害ボランティアバス開催報告

○広島県行き

[日 程] 2018年12月23日(日)～24日(月)
[参 加] いずみ6名、よどがわ5名、パルコープ4名、大教大2名、事務局2名 計19名

[内 容]

12/23(日)
朝 大阪出発
昼 広島県呉市到着
・広島県生協連 高田専務理事からご挨拶
・生協ひろしま 岩永理事と広島県生協連 森島課長のご案内により、長迫公園(旧海軍墓地)～大和ミュージアム～映画「この世界の片隅に」のロケ地案内～歴史の見える丘公園～アレイからすこじまを巡るピースツアー
12/24(月)
午前 たこ焼き生地づくり、イベント会場

設営
 12時～「クリスマスイベント～復興を願う
 会 in 天応～」
 おおさかパルコープの模擬店にたこ
 焼きを出店。
 16時 イベント会場出発
 21時 大阪到着

4 健康チャレンジ実行委員会開催報告

○10回

[日 時] 2018年12月7日(金) 15時～17時
 [場 所] 大阪府社会福祉会館 4階404
 [出 席] きづがわ、大阪みなみ、かわち
 野、けいはん、なにわ、ほくせつ、
 南大阪、関西共同印刷、府連

[議事概要]

- (1) 課題別チーム会議開催
- (2) 課題別チーム会議の報告
 - 広報チーム
 ニュースNo.10を12/15に発行。原稿は
 12/11までに提出
 WEB 申込249件（昨年39件）
 2019年度企画ではイメージキャラク
 ターを検討する
 - 景品・次期対策チーム
 2019年度企画に向け、地域生協、大学
 生協への働きかけを分担して行う。
 - ゴール集会チーム
 チラシ・ポスターのデータは12/18まで
 に各生協に送付
 開会挨拶と2018年度まとめは岡実行委
 員長（けいはん）
 要員等の分担は次回実行委員会で行う
- (3) 確認・討議事項
 - ① 申込状況確認 11,374名（昨年8,527
 名）
 次回 第11回2019年1月15日(火)

○11回

[日 時] 2019年1月15日(火) 15時～17時
 [場 所] 大阪府社会福祉会館 4階404
 [出 席] きづがわ、大阪みなみ、かわち
 野、なにわ、ヘルス、ほくせつ、
 関西共同印刷、府連

[議事概要]

- (1) 課題別チーム会議開催
- (2) 課題別チーム会議の報告
 - 広報チーム
 報告書集計について
 - 景品・次期対策チーム

地域生協への働きかけ進捗について
 ラッキー賞の配分について

- ゴール集会チーム
 当日運営と要員分担について
- 次回 第12回2019年2月8日(金)午前に変更

5 被災地視察プロジェクト開催報告

○第1回

[日 時] 2018年10月11日(木)
 14時～14時45分
 [場 所] 大阪府生協連 事務所
 [出 席] 北川、中谷、清水、渡邊、中村、
 小山
 [内 容] (1) プロジェクト設置経過確認
 (2) PJの今後の進め方
 (3) 企画素案の検討

○第2回

[日 時] 2018年12月6日(木)
 14時～14時40分
 [場 所] 大阪府生協連 事務所
 [出 席] 北川、秋山、久保、中村、小山
 [内 容] (1) 第1回プロジェクト概要報
 告
 (2) 企画の具体化について協議
 (3) プロジェクトメンバー現地
 視察について

○第3回

[日 時] 2019年1月17日(木)
 10時30分～11時15分
 [場 所] 天王寺都ホテル 5階ロビー
 [出 席] 北川、中谷、秋山、清水、渡邊、
 中村、小山
 [内 容] (1) 研修コース案について
 (2) プロジェクトメンバー現地
 視察の日程について

日本生協連、他生協等

6 日本生協連全国方針検討集会参加報告

[日 時] 2018年1月15日(火)
 13時～16日(水)12時
 [場 所] 都市センターホテル
 [出 席] 118生協・連合会・団体479人
 府連（タン・中村）

[内 容]

<一日目>

- (1) 日本生協連会長挨拶
 会長 本田 英一 氏
- (2) 基調報告1「全国生協の2018年度まと

- めと2019年度活動方針（一次案）
日本生協連・代表理事専務
嶋田 裕之 氏
- (3) 基調報告2「2018年度事業のまとめと
2019年度事業計画（1.8次案）」
コープ共済連代表理事専務
萩原多加資 氏
- (4) 実践報告
- (5) 動画上映「2020年ビジョンから8年間
を振り返り、次の10年とビジョンを考
える」
- (6) 「日本の生協の2030年ビジョン（素案）」
の報告
2030年ビジョン委員会委員長
木田 克也 氏
- (7) 「2030年に向けて生協に期待すること」
日本生協連理事 村木 厚子 氏
＜二日目＞分散会 2030年ビジョン深める＜7
つの質問＞をもとに話し合おう
※3つの分散会のテーマおよび進
め方は共通

会員及び友誼団体等

7 消費者支援機構関西報告

○12月理事会

- [日 時] 2018年12月19日(水) 16時～18時
[場 所] 日本生協連関西地連4階・会議室
[出 席] 理事11/13名、監事1/2名、検
討委員会・事務局等6名
[概 要]

- (1) 差止請求検討委員会；銀行カードローン
「お問合わせ」案について一部字句修正
し、執行することを確認した。
- (2) 理事長後任候補の選定について提案どお
り確認した。

8 なにわの消費者団体連絡会報告

○12月度幹事会

- [日 時] 2018年12月19日(水)
14時～15時30分
[場 所] 大阪府消費生活センター セミ
ナー室
[出 席] 6団体
[議 題]

- (1) 大阪府消費生活センターとの懇談会につ
いての振り返り
(2) 「見守り講座」を受講しての振り返り

- (3) 雪印メグミルク(株)食コミュニティ「乳の
食育」プログラム「チーズを美味しく楽
しむ会」振り返り
(4) (株)ダスキン学習会 質疑応答内容につ
いて
(5) 「なにわの風」37号記事内容について
(6) 平成31年新年懇親会
(7) 出席会議報告その他
※12月19日大阪府消費生活センターとの懇談
会を行った。

9 全大阪消費者連絡会報告

○1月理事会

- [日 時] 2019年1月11日(金)
15時～16時10分
[場 所] 消団連 会議室
[概 要]

【報告事項】

- (1) 専門委員会の活動
- 12月13日食品安全委員会主催「米国、カ
ナダ、アイルランドから輸入される牛肉
及び牛の内臓に係る食品健康影響評価に
関する審議結果（案）についての意見交
換会」に参加。
- (2) 組織・財政の現況と対策
- 機関紙サイクル 1減 12月末739部、12
月度決算報告
- (3) 加盟組織の活動
- 全国消費者団体連絡会では、公益通報者
保護法改正に係る消費者委員会の公益通
報者保護専門調査会の議論状況を共有し
た。制度の拡充に対し財界が反対してい
る模様。消費者委員会では昨年末に報告
書を公表した。
 - 電力料金の経過措置料金規制の解除関し
て、電力・ガス取引監視等委員会の専門
会合では全国数箇所ヒヤリングを実施。
大阪は1/11に開催され参加した。

【協議事項】

- 1) 2月度の運営会議について
2) 機関紙サイクルの編集・拡大等について
3) CASAの2019年度市民講座について
4) 理事会の日程調整について

10 大阪府下避難者支援団体等連絡協議会 （ホットネットおおさか）第36回定例会報告

- [日 時] 2018年12月7日(金)
13時30分～15時
[場 所] 大阪弁護士会館 12階1205会議室

[参加] 13名

[概要]

- (1) 避難者交流会（11月11日）の振り返り
- (2) 避難者当事者の皆さん、参加団体からのご報告
- (3) 事務局からのお願い・報告

11 第2回くらしクリエイティブフォーラム in 関西 第8回実行委員会報告

[日時] 2018年12月11日(火)10時30分～12時30分

[場所] KC's 会議室

[出席] 安全食品連絡会、NPO 法人消費者情報ネット、きんきビジョンサポート、全大阪消費者団体連絡会、日本消費者連盟関西グループ、大阪府生協連、大学生協事業連合（オブザーバー）

[内容]

- (1) 開催までの準備スケジュール確認
- (2) チラシ案の検討
- (3) プログラムについて
- (4) 冊子原稿について
- (5) 当日配付資料について
- (6) 次回実行委員会日程
2月5日(火) 10:30～12:00、KC's 事務所

12 大阪地区《ろうきん & 生協連》懇談会報告

[日時] 2018年12月18日(火) 16時～17時

[場所] 近畿ろうきん肥後橋ビル 4階
会議室

[出席]

【近畿ろうきん】

江川 光一（常務理事 / 大阪地区本部長）
東中 健悟（大阪地区本部事務局長）
浦田 和久（地域共生推進室長）
中須 雅治（地域共生推進室上席）

【大阪府生協連】

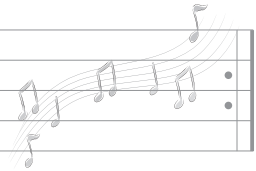
中村・小山

[議題]

- (1) 諸活動報告（近畿ろうきん・大阪府生協連）
- (2) ろうきん・生協の協同・連携事業
- (3) 協同シンポジウム2018in おおさかまとめ
- (4) 今後の協同。連携づくりに向けて
- (5) その他



「クリスマスコンサート」を 開催しました



12月25日(火)、「クリスマスコンサート」を、日本センチュリー交響楽団の演奏により、NHK大阪ホールにて開催しました。

昨年まで、「夏休みファミリーコンサート」として実施していましたが、今年は装いをあらためクリスマス企画として開催しました。

午前・午後の2回公演に、12生協から1,462人（午前の部501人、午後の部961人）の申込みがありました。また東日本大震災の避難者18人（午前の部8人、午後の部10人）を招待した。

コンサートのサブタイトルは「絵本から飛び出したクリスマス」です。クリスマスの定番曲の演奏や楽器紹介コーナーでのオーケストラのミニ学習、また語りと演奏のコラボレーションなど、サンタクロースからの素敵な音楽のプレゼントを楽しみました。

【演奏】 日本センチュリー交響楽団

【指揮とお話】 関谷 弘志 氏

【語り】 村上 陽菜さん

【プログラム】

<演奏曲など>

- フンパーティグ：歌劇「ヘンゼルとグレーテル」～序曲
- 楽器紹介 オーケストラの愉快的仲間たち
- ベネット編：ホワイトクリスマス
- チャイコフスキー：バレエ音楽「眠りの森の美女」組曲～第5ワルツ
- ～クリスマスの物語を語りとオーケストラで～
チャイコフスキー：バレエ組曲「くるみ割り人形」
- アンダーソン：クリスマスフェスティバル
- アンダーソン：そりすべり



2019年新年講演会を開催しました

1月17日(木)、天王寺都ホテル（大阪市）にて、2019年新年講演会を開催しました。

今年の新年講演会は、「協同組合の連携による持続可能な社会の実現に向けて」をテーマとし、昨年の4月に発足された日本協同組合連携機構（JCA）の勝又博三様（代表理事専務）、前田健喜様（協同組合連携部長）を講師にお招きしました。

タン会長からの開会のご挨拶の後、始めに勝又様から「日本協同組合連携機構の設立と今後の展開」と題して、JCA 設立の背景として、「グローバル化の中での貧富や機会の格差と拡大、人口減少・少子高齢化、地方の活力低下、若年層に厳しい地方の環境、地域や生活を察せる社会の力の弱体化」などの社会問題。一方で協同組合に対する評価と期待の高まりを認識し、より協同組合の連携が全国で広げていくために、法人組織としてJCA を発足したことについてお話いただきました。

続いて、前田様からは、「協同組合間の連携事例」と題して、JCA で調査された各都道府県における連携組織の状況、連携活動の成果や課題・悩み、子どもや高齢者の支援、自然環境を守る活動、農林水産業の支援、地域の困りごと解決、健康増進活動、共同店舗事業など、各地の特徴的な連携事例について、お話いただきました。

当日は約120名の参加がありました。会員生協の役職員だけでなく、大阪府、JA 大阪中央会、大阪府漁業協同組合連合会、大阪府森林組合、日本労働者協同組合連合会センター事業団関西事業本部、大阪労働者福祉協議会、大阪ボランティア協会、近畿労働金庫からもご出席いただきました。

大阪には協同組合連携組織はなく、今回の講演会をきっかけとして、今後大阪での連携が進めることが課題です。



「～おおさかまるごと～健康チャレンジ2018ゴール集会」を開催しました

2月2日(土)の午後、大阪市内の阿倍野区民センター大ホールで「～おおさかまるごと～健康チャレンジ2018ゴール集会」を開催し200名が参加しました。

「～おおさかまるごと～健康チャレンジ2」は、会員医療生協と大阪府生協連で実行委員会を作り、生協組合員、町会や学校等、地域の方に参加を呼びかけ、健康づくりの活動として、「運動」「食」「口の健康」「脳」「禁煙・節酒」「快適な睡眠」「肥満の改善」「私の健康法」「キッズチャレンジ」の基本コースから、参加者が選択し、10月・11月の2ヶ月間に各自でチャレンジし、その結果報告書を生協に提出いただく活動です。今までは各医療生協でバラバラに取り組んでいたものを2016年度から大阪全体での取り組みとして行っています。

今年度ははじめて全体の参加目標を上回る1万1,500人を超えるチャレンジ参加がありました。

ゴール集会では、実行委員会の岡委員長（けいはん医療生協）から、取り組み結果の報告がされ、特徴的な活動事例として、コープこうべからは、ほくせつ医療生協との連携。医療生協かわち野からは支部を中心とした普及活動。ヘルスコープおおさかからは中学校への働きかけについて報告がありました。

その後は、学習講演として、国立循環器病研究センターの平野和保様を講師に、同センターで取り組まれている減塩の普及活動「かるしお」の取り組みについてお話いただきました。

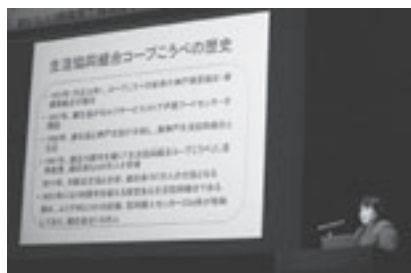
最後に、防災グッズや塩分チェッカーが当たる抽選会を実施し、来年度の健康チャレンジも多くの参加で盛り上がることを確認して閉会しました。



200名が参加



目標達成を確認



特徴的な取り組みの報告



学習講演



抽選会で盛り上がる。

平成30年度大阪府消費生活協同組合 優良役職員知事表彰授与式が開催されました

2月12日(火)、大阪府の「平成30年度大阪府消費生活協同組合優良役職員知事表彰」の授与式が、ドーンセンター内の大阪府府民文化部男女参画・府民協働課 の会議室にて実施されました。今年度は、会員2生協からご推薦いただいた4名の方が受賞されました。各受賞者の功績に敬意を表しますとともに、皆様のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

【会員生協の受賞者】

大阪いずみ市民生協	佐藤香世子	さん
大阪いずみ市民生協	下川 知克	さん
関西大学生協	土居原 茂	さん
関西大学生協	山本 辰也	さん



前列左から佐藤さん、下川さん、土居原さん、山本さん
後列左からタン会長、松阪府民文化部次長、川口男女参画・府民協働課長

受賞者紹介およびご本人からのコメント

昭和56年4月1日に入協後、17年10ヶ月に渡り共同購入センターの事務局担当として従事。センターの円滑な運営と配送支援に対して大きく貢献した。その管理能力を活かし、受注センター、コールセンターの業務を歴任。店舗スタッフも出向を含め約1年10ヶ月務めた。平成18年3月より共同購入センターの副センター長として、センター実務の管理、業務目標の達成に対し尽力し人材育成にも努めた。

平成22年より組合員活動を担う部署に着任し、地域組合員の活動のサポートや企画、活動を担う人材の発掘、育成にも尽力した。行政との調整など活躍は現在も多岐にわたっている。



佐藤 香世子 さん
大阪いずみ市民生活協同組合
組合員活動部
堺泉州地区 組織スタッフ

〈ご本人からのコメント〉

学生時代に大学生協の企画に参加したことがきっかけで「生協」を知りました。

生協の歴史や事業・組合員活動に興味がわき、大阪いずみ市民生活協にお世話になることとなり、今日に至ります。

入協時は自生協も創設9年目で、組織自体も、また働く仲間も若く、整備されていないこともありましたが、活気に満ち溢れていました。

組合員さんが増え、事業が成長をすると共に、環境も整い、様々な部署や役割ができましたが、私は配送センターや本部の後方支援の部署に長くいました。その間結婚や出産など人生の転機となる時期はありましたが、むしろそのことで「生協」が“仕事”だけでなく、“生活”そのものになり、なくてはならない存在になっています。その様な事を仕事にしている自分自身が誇らしく思えました。

現在は、組合員活動部に所属し、地域の委員会活動のサポートや地域連帯などになっていますが、まさに生協ならではの部署だと思います。

コツコツ積み上げた年月が振り返れば35以上年経過していました。今回このような賞を頂くことを晴れがましく思います。

長く生協で働き続けられたのは、何より働く仲間、家族の支えがあったからです。

逆に皆さんに感謝したい思いです。本当にありがとうございました。

生協職員としての仕事終えることはありますが、一消費者としていつまでも生協ファンであり続けます。

昭和59年4月1日に入協後、約4年4か月配送センターにおいて担当者として配属、昭和63年から管理部、総務部、人事部の管理本部に約10年配属され、いずみ市民生活協の基本組織について習得。平成10年7月より、広報・広聴室（理事会事務局）においてスタッフ・統括業務を歴任、理事会運営の調整、外部機関の対応・調整に尽力する。平成16年4月からはマネジメント推進（CSR推進）室で生協活動の理念の浸透やいずみ市民生活協の社会的責任について広く職員に周知を努めた。平成22年3月からは、内部監査室スタッフとして、内部監査の実施を通じてガバナンスの強化、リスクマネジメントやプロセス評価の考え方に基づく人材育成にも貢献し現在に至る。



下川 知克 さん
大阪いずみ市民生活協同組合
内部監査室スタッフ

〈ご本人からのコメント〉

この度は、大阪府消費生活協同組合優良役職員知事表彰を頂き、誠にありがとうございます。

学生時代に生協活動に関わりをもったことがきっかけで生協へ就職し35年。この間、組織共同購入担当や事務局担当、管理系や機関運営系スタッフ等の業務を通じて様々なことを経験しました。自分なりに取り組んできましたが、時々の上司や諸先輩の指導や援助、同僚や後輩の支援・協力があつてなんとかやってこれたのではないかと考えています。この度の評価はこれらが積み重ねられた結果だと感謝しています。

私の経験が少しでも生協の発展に役立つよう、生協職員としての残りの期間を奮闘するとともに、次の世代の人たちに伝えていく努力をしていきたいと思います。

平成5年1月1日入社以来、前職の経験を活かし購買店の家電販売部門の中心的なスタッフとして従事。新生活用家具・家電のカタログ作成、仕入・販売、物流を一元的に管理。平成18年よりパソコン仕入販売の責任者となり、新入生向けおよび教員の校費対応に注力してきた。業務への取組姿勢は非常に真面目であり、緻密な計画立案ができ、且つ実行力も伴い能力は非常に高い。特にパソコンを中心とした新入生向けの事業を大きく発展させ、物販サービス事業全体の底支えをしてきたその貢献度は大きい。



土居原 茂さん
関西大学生協同組合
物販サービス事業部
購買店アシスタント
マネージャー

〈ご本人からのコメント〉

この度は、栄えある優良役職員にお選びいただき、誠にありがとうございます。このような栄誉は自分に縁のないものと思っておりましたので、授賞の通知を受けて大変ありがたく、また驚いています。

受賞の連絡をいただいて思うことは、この栄誉は決して自分だけの成果ではないということです。これまで自分を指導し育てていただいた先輩社員の皆様と、自分を支えてくれた同僚や部下の皆様のお蔭であると実感しています。今後も、多くの人たちとの絆を大切に、仕事に邁進していきたいと思います。

最後になりましたが、このような晴れがましい機会を与えていただいた皆様に御礼申し上げます。

前職で培った技能を活かし各種システム（販売仕入計数管理・組合員加入脱退管理・勤怠給与・POS等）の導入・更新管理につき責任者として能力を発揮し、現場業務の効率化を通じた生産性向上に多大な貢献を果たした。商品管理につきPOSシステムを活用し推進できる体制を構築し、校費対応に於いても伝票発行システム導入を図り、購買店業務の効率化にも大きく貢献した。パソコンについては新入生向けから教員向けまで幅広く対応し、その後文具・雑貨に至るまで守備範囲を広げて活躍している。



山本 辰也さん
関西大学生協同組合
物販サービス事業部
購買店マネージャー

〈ご本人からのコメント〉

関西大学生協同組合に入社して20年を過ぎ、会社からの永年勤続表彰に加え、大阪府より優良役職員表彰を頂ける事は大変光栄に感じております。入社後、総務や購買店でのシステム関連業務を経て、購買店の店長としてこれまで続けて来れたのも上司やスタッフの協力のお陰と感謝しております。この表彰を励みにこれからも仕事に頑張りたいと思います。本当に有難うございました

西日本豪雨災害ボランティアバス

2018年12月23日(日)～24日(月) 広島県呉市に運行

12月23日(日)～24日(月)、西日本豪雨災害ボランティアバスを運行しました。会員生協の職員と、当連合会の東日本大震災ボランティアバス参加経験者の会員生協組合員に呼びかけ、大阪いずみ市民生協から6人、大阪よどがわ市民生協から5人、おおさかパルコープから4人、大阪教育大生協から2人が参加し、事務局含め19人で運行しました。

12月23日(日)は、朝8時30分に大阪駅近くに集合し出発。午後1時に広島県呉市に到着しました。広島県生協連の高田専務理事、森島さん、生協ひろしまの岩永理事にお出向かえいただき、岩永理事のご案内で、旧海軍墓地の長迫公園、大和ミュージアム、映画「この世界の片隅に」のロケ地、歴史の見える丘公園、アレイからすこじま等を巡り、あらためて平和の大切さを学びました。

12月24日(月)は、今回のボランティアの目的、呉市天応地区で開催された「クリスマスイベント～復興を願う会 in 天応～」に参加しました。このイベントは、被災者を支援する地元団体「コミサポひろしま」が主催され、同団体に継続的に職員のボランティアを派遣をしている、おおさかパルコープからの紹介により参加しました。イベントでは、おおさかパルコープ、大阪よどがわ市民生協と合同で模擬店を出店し、大阪府生協連はたこ焼きを出しました。

その他、地元団体等の、ガーリックライス、トン汁、ポップコーン、綿菓子、フライケーキなどの模擬店、大型トラックの荷台を使用したステージでの、コンサートやビンゴ大会など多彩な催しがありました。約800人が参加する大盛況でした。



2019年2月16日(土)～17日(日) 岡山県倉敷市真備町に運行

2月16日(土)～17日(日)の二日間、岡山県倉敷市真備町に「西日本豪雨災害ボランティアバス」を運行しました。参加メンバーは会員生協から組合員15名、生協職員8名の23名に、事務局2名、総勢25名でした。

16日(土)は午前7時30分にJR大阪駅近くに集合し出発。11時に一日目の活動地の真備町有井地

区に到着しました。この日は、地区の公民館で行われる住民交流会で、たこ焼ききをお振る舞いしました。公民館前では、フランクフルトやコーヒーの屋台も並び、ミニコンサートもあり、たくさんの住民が参加されていました。近況を語り合ったり、子供達が元気に走り回ったりと賑やかな交流会でした。「遠い所から来てくれてありがとう」「たこ焼きおいしかったよ」の声に、ボランティアの皆さんも笑顔で応えました。

住民交流会は13時で終了し、お昼休憩の後は、倉敷市社会福祉協議会の松岡さんのご案内で、災害ボランティアセンターで、真備町の被害状況と災害ボランティアセンターの活動をご説明いただきました。その後は、バスで真備町を周り被害の状況等を見学しました。



翌日17日(日)は、真備町の「まきび公園」にて開催された「まび新春まつり」に模擬店を出店しました。このお祭りは、住民さんの困りごとを相談できる場を設け、具体的な支援団体への橋渡しを行い、つなげていくきっかけにと企画されました。「相談ブース」「リラクゼーションブース」「こども遊び場」「ワークショップブース」「飲食ブース」にステージのコンサートと盛りだくさんのプログラムでした。大阪府生協連は「飲食ブース」で、お好み焼きとたこせんを、また「ワークショップブース」で、ぷよぷよボールつり、スーパーボールつり、バルーンアート、スマートボールなどのゲームを実施しました。

お好み焼きは約300食、たこせんは約160食、ゲームは約500人がご利用されました。

当日の売上げ金は、まつり実行委員会に寄付しました。



サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

2018年度のジェンダーフォーラム協議会は「ワークライフバランスについて考える～仕事と介護の両立～」をテーマに活動をしています。社会保険労務士法人NSR 特定社会保険労務士中島康之さんをお呼びし「仕事と介護の両立」をめぐる社会問題について講習会を行いました。

かつて家族が行うものとされていた親の介護ですが、高齢化が進むにつれて介護を必要とする高齢者の増加や核家族化の進行によって介護による離職が社会問題となり、家族の負担を軽減し、介護を社会全体で支えることを目的に2000年創設されたのが介護保険制度です。介護保険料は65歳以上の方と40歳から64歳までの医療保険加入者が支払うことが義務付けられています。末期がんや関節リウマチ等の加齢に伴う疾病が原因で要介護認定を受ければ40歳から介護サービスを受けることができます。

利用の仕方としては、①申請 ②要介護認定の調査・判定 ③認定結果の通知 ④ケアプランの作成 ⑤サービスの利用となっており、原則として申請から30日以内に認定結果がでます。認定結果を待っている家族としては早く認定されたいのですが、認定調査を行い主治医の意見書をもとにどのくらい介護が必要か認定調査会で判断するので時間がかかってしまいます。地域包括支援センターは、地域の高齢者が健康で安心して暮らしていけるように保健・医療・福祉の面から総合的に支援する機関で、市区町村に1つ以上設置されており、介護についての不安や悩みについて無料で相談できる所です。こういった制度を知らずに介護に思い悩む人も多くいるそうです。

仕事と介護を両立するための制度として、介護休業・介護休暇・短時間勤務制度があります。介護休業は介護が必要な家族1人について通算93日まで休業でき、雇用保険から休業前の賃金の4割が支給されます。上司から嫌味を言われたり、人手不足で介護休業を取得しにくい企業も多いそうです。

私自身医療機関の総務を担当しているので今回のテーマは凄く身近に感じました。ケアプランセンターや地域包括支援センターといった関係機関から主治医意見書の依頼等の電話が頻繁にかかってきますし、それだけ介護保険制度を利用している人が多いのだと感じています。私が就職してから約6年間で介護休業制度を取得した職員が数名いますが、この数年だけでも介護休業制度を取得しやすいように制度も変わってきています。高齢化が進んでいることで介護を必要とする人が今後もっと増えていくと思いますが、医療施設や介護施設等で働く介護職員が足りていないのが現実です。介護保険制度が整っていても介護職員がいなければいい制度も上手く機能できません。他人事ではなく、一人一人が今後の介護のありかたについてもっと考えていかないといけないと思います。

北大阪医療生活協同組合
本部事務局 総務部 山崎 莉花

スケジュール

3月

- 1日(金) 健康チャレンジ実行委員会
- 3日(日) コヨット！ in おおさか2019春参加者説明会（福島会場）
- 7日(木) 第4回ジェンダーフォーラム協議会
消費者支援機構関西（KC's）差止訴訟検討委員会
- 9日(土) 第2回くらしクリエイティブフォーラム in 関西
- 10日(日) コヨット！ in おおさか2019春参加者説明会（大阪会場）
- 12日(火) 全大阪消費者団体連絡会理事会
- 13日(水) 2019年度第1回生協大会実行委員会
- 14日(木) 第6回理事会
- 15日(金) 会報 No.339発行／2018年度第3回近畿地区生協府県連協議会
- 16日(土) ボランティア防災研修会「屋根のシート張り講習」
- 20日(水) 2019年度第1回文楽・コンサート実行委員会
- 22日(金) 福島の子ども保養プロジェクト「コヨット！ in おおさか2019春」
（～26日(火)）
- 26日(火) 消費者支援機構関西理事会

4月

- 1日(月) 全大阪消費者団体連絡会理事会
- 10日(水) 組織活動委員会
- 17日(水) 第2回文楽コンサート実行委員会
- 24日(水) 第2回生協大会実行委員会

5月

- 8日(水) 第3回文楽コンサート実行委員会
- 16日(木) 第7回理事会